

顔面神経麻痺

患者様情報

来院されるまでの症状

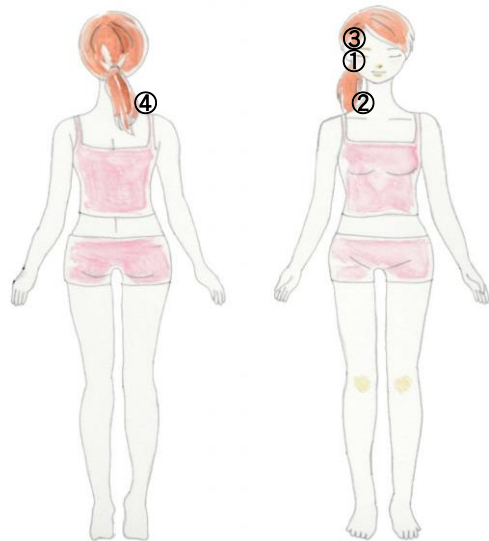
- ・日頃より右の肩こりを感じていたが、最近になって右耳の後ろまでが重苦しくなっていました。
- ・来院の3日前、起床後に突然右眼を閉じることができなくなり、右顔面の鈍痛が始まりました。
- ・また、口が突っ張ってきて、うがいができなくなったという症状に驚き、来院なさいました。

患 者 様	30 代	女性
初 診	2011 年	2 月
既 往 症	特になし	
他 の 症 状	首「こり、肩こり、便秘	

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・口の右側は笑っても動かず、突っ張ったままでした。
- ・顎下腺の付近を押したときに痛みがあるようなのでその痛みをとるように施術しました。
- ・右眼まわり（顔輪筋）の緊張を緩め、右耳の鈍痛については耳から鎖骨に繋がる胸鎖乳突筋という筋肉の突っ張りをとる施術をしました。



■ 初診後の経過

- ・週2回の頻度で施術を繰り返しました。
- ・6回目の施術後に、右眼や右耳の痛みや突っ張りは軽減し、眼も閉じることができるようになりました。
- ・口にはまだ多少の突っ張り感が残っていましたが、顔面の表情筋はほぼ動かせるようになりました。

使用した主要なツボ

- ①翳風（エイフウ） ②欠盆（ケツボン）
③瞳子膠（ドウジリョウ） ④肩井（ケンセイ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・顔面神経麻痺（ラムゼイハント症候群）は原因不明とされていますが、過度なストレスが蓄積された時に発症する事例が多くみられます。
- ・慢性的な肩凝りや冷え症体質を改善し、身体のストレスを軽減することで、再発を防ぐことが期待できます。
- ・月2回程度のペースで継続的に受診されることをお勧めします。